

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和8年2月末現在
男 15,056人
女 15,036人
総人口 30,092人
世帯数 13,728世帯

◆茨城町民憲章

- ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花 桜

◆町の木 梅

◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合

防災行政無線テレフォンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X(旧ツイッター)
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
- 町公式ライン
<https://page.line.me/?accountId=ibarakitown>



里山に育む生きものたち

No.165 アメリカフウロ
(フウロソウ目 フウロソウ科)

学名 *Geranium carolinianum* L.

写真・文 安 昌美

▼アメリカフウロ(垂米利加風露)とは
フウロソウ属に含まれる1年草で、北米原産の帰化植物です。アジアや太平洋諸島に帰化しているそうです。国内では本州(宮城県以南)から沖縄に生育しています。日本では昭和7年(1932年)に牧野富太郎により、京都市南部で見つけられ、同年にアメリカフウロとして発表されています。昭和の初期に日本に侵入したようです。日本では牧野富太郎も有名ですが、「分類学の父」とも呼ばれるリンネが本種の命名者です。しかも学名の出発点となる『植物の種』は1753年に出版されています。この学名は1753年発表とされ、しかもそれが現在

も通用しているのです。アメリカフウロは在来のゲンノシヨウコと同じ属ですが、葉は3〜5に深く裂け、さらにその裂片が細裂します。全体に柔らかい毛が覆っています。ゲンノシヨウコ(多年草)の葉より細く裂けています。開花時期は4月〜8月です。果実は鶴のくちばしのような特徴のある長い果実です。基部に種子があり、種子の表面に網目模様があります。ゲンノシヨウコの種子は平滑です。(ゲンノシヨウコは平成8年7月1日の広報で紹介しています。)



ゲンノシヨウコ

▼茨城県でのアメリカフウロの広がり
帰化植物は海外との人の交流や、物流に伴い、港や空港などが侵入地点になります。侵入して日本で生育できるものは各地に拡大していきます。本種も最初に気づかれたのは京都ですが、京都から全国に広がったのでしょうか。時期や場所も異なる侵入もあったでしょう。
茨城県では1981年の『茨城県植物誌』には下館市、明野町、境町での確認が記録されています。茨城県では1996年のゲンノシヨウコの紹介時点で確認していませんでした。2010年代からは町内でも生育地点が増えています。現在は茨城県ほぼ全域に広がっています。

ちびっ子アート 大戸幼稚園



年長さくら組のみんな



みんなともだち
~しょうがっこうでもがんばるぞ~